

ふるさと農園

9月の農園

バラエティに富んだ農園
9月の農園は、バラエティに富んでいます。でも、花は正直で彼岸花やコスモスが咲き始めた。夏の野菜と秋の野菜が入り乱れ収穫の秋。



冬野菜の種まきの時期で
人参や大根は芽を出し大きく育っています。秋の収穫のウコン・ヤーコン・キクイモは日に日に大きくなって行きます。シソの実の佃煮も美味しいです。
困ったことに、草も負けず大きくなって悪銭苦闘。でも、畑仕事は健康的です。
T・A

会員だより

「源氏物語」に登場する秋の植物」を受講して

京都城南宮で右の講演
会があり聴きに行きました。講師は京都府立植物園名誉園長の 松谷 茂先生です。

源氏物語にはたくさん植物が出てきます。草本類約60種類、木竹類約50種類、です。出てくる回数にはマツ、モミジ(紅葉) 約60回、サクラ約50回、その他、ウメ、フジ、ヤマブキ、ナデシコ、キク、ハス、オミナエシ、タチバナ他で、



専門家の先生から見ると
紫式部は物凄く感性を持った天才とこのことです。鋭い観察力があり植物の色、香り、茎、根にいたるまで広い知識を持っていたということ。私は「源氏物語」はいろ

んな訳者のものを何回か読みましたが、そんな見方をしたことがないので驚きました。

特に秋の植物としては紫色の花がたくさん出てきます。桔梗(ききょう)、竜胆(りんどう)など。講演が終わって城南宮

の「源氏物語花の庭」(曲水の宴などが行われるお庭)を先生の説明で見学しました。この庭は「源氏物語」に出てくる植物が百種類以上植えられています。その庭を、植物と、物語に出てくる場面とを交えて説明してくださいました。

桔梗、女郎花、藤袴、吾亦紅、くちなし、ほおずきなどが花や実をつけていました。物語との関連では、例えば、柏木がはじめて女三宮を見る場面に出る(柏木カシワ)とか、明石の君が京へ出てきて隠れ住む嵐山の場面に出てくる「松」、それも物語には雄松とも雌松とも書いてないが、明石の場では雄松(黒松)だろう、嵐山では雌松(赤松)だろうと思いうということ、雄松、

雌松の見分け方も教えて
くださいました。城南宮は平安遷都の際、国土の安泰と、都の守護を願って平安城の南に祀られたお宮で、一二〇〇年の歴史があります。方違えのお宮としても有名な

講演会は会員制で年、2回催されます。F・M

尊い命の恵み

ピンクのたんぽぽ

7月の始め、珍しいピンクのたんぽぽが咲きました。これは今年4月8日お釈迦様の誕生日の花まつりに、通りがかりの私達にも檀家さんが甘茶の接待をしてくださった時、この花の種を戴きました。道に面して、綺麗な花々で飾られたお釈迦



様の仏像は優しさを湛え、この世のすべての尊い命を見守っているようでした。

接待では8月24日西
之川原の守り神様の地藏盆に行った時も冷たい西瓜を戴きました。

普段は人影もなく物静かな小さな祭殿ですが、この日は子ども達がヨウウウ釣りや輪投げに興じていました。地域の大人にしっかりと見守られている様子でした。

地域に根差した伝統行事を次の世代が継いでくれればと願うひと時でした。と共に我が庭でも来年のピンクのたんぽぽが咲きますように祈ります。
S・U

折り紙

童人形に魅せられた訳

可愛らしい紙人形
私！欲しい！造りたい！童人形を借りて作ってみたが、いまいち恰好がつかない。人形の髪が和紙の両面黒で細かい縮れがある。その和紙を卵型に切った厚紙に置いていくだけで、顔の表情が出来てくる。着物は明るい生地に白の総模様、帯は派手な柄だが黒い色。裾から上の裏

カメラは友達

“丹後晩夏”

夏の終わりの海は、ぎらぎらした眩しさが少しやわらぎ、次の季節の到来を待っている。
S・N



髪が可愛い。
地の天辺はつつくつん
E・H

